

出向者紹介

〜金沢一俊君〜

最終回は神奈川ブロック協議会へ運営専務として齋藤会長とともに精力的に運動展開されてきた金沢一俊君のレポートです。

「人として生き、人に尽くす」青年らしくおかしいと思ったことには臆することなく意を唱え、解決に向けて行動することを惜しまない、そんな尊いJC運動の根底にあるのは「人として」の精神であると確信しています。私たちは、何のためにまちづくりやひとづくりの事業をするのでしょうか？ 私たちは「人として」子どもや孫の世代に負の遺産を引き継がないために、様々な事業を通じて社会の問題に対して正面から向き合い積極果敢に取り組んでいかなければなりません。

これは齋藤会長の所信冒頭部です。この様に私たちJAYCEEは「気づき」問題を抽出し、知識・見識・胆識を身につけ、若い行動力を持って活動をし続ける事で自らを飛躍させ地域を活性化するために運動を展開していかなくてはなりません。JCが活発な場所はそのに住む人、そして地域全体が躍動するのです。現代社会は、いつの時代にも増して、変革の意志をもって挑戦を続けて行かなければ、生き残ることが困難です。自己変革を通じて自覚的に差異をつくり出したものだけが、成長を手にできます。急激な変化の渦中、行き先を見失いがちな中で、リーダーは、常に適切な方向を指し示し、部下や組織メンバーの挑戦意欲を引き出すことが求められます。



本年度は、10年ぶりに横浜青年会議所から神奈川ブロック協議会へ会長を輩出しました。私は、齋藤会長と共に運営専務として出向の機会を与えていただきました。本年、神奈川ブロックでは「開港の地から「真日本建国」郷土愛溢れるつよい神奈川創造」をスローガンに掲げ、LOMに一番近い日本JCとして、神奈川21会員会議所メンバーと共に「憲法タウンミーティング」、「県知事マニフェスト検証大会」、「公開討論会」などの日本JCが勧める協働運動や連携推進運動を実施しました。更には、青少年育成事業として「かながわハイスクール議会」、環境事業として「環境フェスタ」、LOMサービスの一環として「拡大推進会議」の開催や研修事業など、様々な角度より独自の事業を展開し、神奈川県下のまちづくりひとづくりに寄与してまいりました。

そして、2009年度の神奈川ブロック協議会の集大成として開催しました会員大会ではこどもの教育を軸にした数々の運動を広く地域に発信する場として鎌倉にて多くの市民の方々にも参加していただき、我々と同様、「自分ごと」として、日本社会が抱える問題に気づき考えていただける機会として積極的に取り組みました。来年には、神奈川ブロックの長年の夢でもありました全国会員大会が神奈川の地「小田原」にて開催されます。神奈川における全国大会は横浜開催より45年ぶりの大会となります。是非、多くのメンバーに参加いただき小田原から発信される報徳精神をはじめ日本JCの運動を持ち帰って頂く機会としていただきたいと思います。本年、出向させていただき感じたことは、協議会と会務への出向の違いが分からず立場だけの出向をするメンバーが多いこ

とに危惧しております。機会があれば皆さんも是非、積極的に出向していただきたいと思いますが、目的をもって出向し、新たなJCライフを広げJC運動に対してさらに理解を深めて頂きたいと思っています。JCはメンバーシップで、自分達の会費で自分達の考え方で行動を起こす団体です。この青年期に、しがらみに縛られないJCだからこそ市民のリーダーとして変革を推進して行けるのです。この成長する青年期に志を持ってJCを選択した事の意味を思い返し、思考と実践力を持って共により有意義な時を過ごしましょう。結びになりますが、私を支えて頂きました皆様、そして横浜JCメンバーの皆様に心からの感謝と御礼を申し上げます。「JCは行動しなければ何も与えてはくれません」この齋藤会長の言葉が忘れられない思い出です。

最後にメンバーにひと言お願いします
ブロックでは運営専務ですがLOMでは涉外顧問であり、日本JC関係委員会へ配属もされております。今年の涉外チームには素晴らしい涉外活動を展開していただき本当に感謝しております。あまり委員会活動を共にできませんでしたが御容赦ください。時期的には次年度委員会や出向の話が出てくる事かと思いますが、可能な方は是非、出向を前向きに考えてみてください。可能な時間を少し出向に当てることで視野が広がりますしJC活動が楽しくなると思います。最後に「じゃがいもクラブ」の活動にも御参加ください。心よりお待ちしております。

レポート／日本JC関係委員会
可知幸次郎